

第 571 回 放送番組審議会

1. 日 時 2021年2月16日(火)午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員長	佐藤 健志
副委員長	加藤 千晶
委員	石田 亨
委員	柿木 康孝
委員	緑川 智恵子
委員	林 英彰
委員	蛸崎 奈津子

欠席委員 2名

委員	前田 千香子
委員	越沼 洋一

社側出席者

榎野 信治	(代表取締役社長)
池田 学	(取締役 関連会社担当)
志田 博幸	(報道制作局 制作部担当部長)
岩瀬 弘行	(報道制作局 アナウンス部副部長)

事務局 畑山 篤 (常務取締役 編成・報道制作担当)

4. 議 題

1. 2/2(火)15:50～17:53 放送

「5きげんテレビ」第1部(ローカル部分)及び第2部

2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

・視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- 「5きげんテレビ」はとてもリラックスして見ることができる。毎日見ているわけではないが、それでも岩手に暮らしていると夕方にテレビから当たり前に流れている、生活に溶け込んだ番組だと感じる。
- 感染対策のところではアクリル板は用意していたようだが、店主の方と対面で歌を歌った場面は気になる視聴者もいると思うので、アクリル板を真ん中に置く、あるいは少し距離を取るなど対処をしたほうがよいのではないかと思った。
- プレゼントとお取り寄せ番組だと正直思ったが、寿司券やスキーリフトなど色々なプレゼントがあり、他にも全国からお取り寄せもあり、すごく印象に残った。
- 天気予報の方法がすこし変わっており、後半の肌荒れ情報など面白いように工夫していると感じた。地域性が細かく分割されており、普通“市”だけであったところが、市町村を細かく分けていて馴染みがあってよいと思った。
- 5きげんクッキングではテーマを決めて取り組んでいて、次回の料理と食材などを示すことにより、興味のある方は準備をすることができるという気遣いがあると思った。
- クッキングコーナーを見た中で実際にどれくらいの方が同じものを作ろうとしているのか、クイズのコーナーでどれくらいの応募があったのか、そのような番組に対する視聴者の反応を教えてくださいたいと思った。
- 他県の系列局と連携しているコーナーは、全国系列局全てやっているのか？それとも限定的なのか？というのを聞きたいと思った。テレビ岩手も他県に向けて発信していると思うので、どういった商品をこれまで発信してきたのか聞きたいと思った。

局側意見

- 食レポについて気をつけている事は、コロナが蔓延している中で“マスクをする”という事、“離れる”というところ。食べる時には、食べる人間が座っている机の端の方に、店主の方に立っていただき“距離を保つ”というのがひとつ。“リポーターが一人で食べる”という撮り方も当初はやっていた。店の人には説明のみ頂き、食レポの時はリポーターが一人だけ食べるという形や、

食べたものに関してはリポーターが食べたならそれを残す、もしくは他の人が共有しないなど注意点などがある。

- 電話クイズで正解した際にはオペレーター皆で画面に出ていたが、密になるということで現在は画面に出していない。オペレーターは社屋に入った時に必ず体温を測り、マスクをし、スタジオでも間隔をおいて電話を受ける形にしている。
- クッキングについて、実際に作った数は、『作りました』とハガキが来るくらいで、実際のデータは無い。電話はメールの数はかなりあり、“てれリンク”でのキーワード3文字は、毎日1000件以上必ず応募がある。電話クイズは、『繋がらない』という電話が会社の別の電話にかかってくるという状態。回線とアルバイトもある程度確保しているが、集中してしまう事がある。
- 日本テレビ系列で夕方の生のワイド番組を放送している局というのは非常に多く、系列の会議が年2回あり、その中で地域のものを出しあい紹介していく企画があり、現在は11社ほど賛同している。系列局の中では四国や九州もあり北海道以外が散らばり11社が参加。これまでに紹介したものは、三陸のものや最近では鯖缶など。岩手で話題となっている中で通販できる商品、他県の方がお取り寄せできるようなものを紹介している。

7. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合の公表内容、方法及び年月日

- ①自社放送 2月23日(火)11:45-11:52「あなたと歩むテレビ岩手」
- ②テレビ岩手本社での備え置き
- ③読売新聞への掲載 (別添)
- ④自社HPでの掲載 <https://www.tvi.jp/tviweb/deliberation>